

おもてなし事業を活用し 被災地・石川の消費応援で 女性部員と交流

郡上市商工会女性部(岐阜県)



岐阜県郡上市は、世界農業遺産にも指定された「清流長良川の鮎」と、ユネスコ無形文化遺産に登録され、お盆は徹夜で踊り明かす「郡上おどり」が自慢の地域です。

郡上市は2004年に7つの町村が合併し、商工会も女性部も1つになって15年経ち、現在は部員数22

3人とかなり大所帯の女性部です。

今年の年明け早々にお隣の石川県で大地震が起き、石川県へ女性部として何ができるだろうと役員会で話し合った結果、視察研修へ行き、消費応援をすることにしました。「せっかくなら女性部員さんとながりたい！」それならおもてなし事業を活用しよう！」と、受け入れ可能な能美市を選定して9月に部員26人で行きました。

当日は天気にも恵まれ、双方の女性部活動を紹介しますし、昼食会で部員交流をし、美術館にて九谷焼の陶片を利用したアクセサリー(アクセサリーづくり)体験、九谷焼の鑑賞を行います、部員同士が打ち解け、とても有意義な時間を過ごせました。

九谷焼の陶片を使用したアクセサリーづくりの説明を聞いている様子



商工会女性部はまちに
元気と安心をお届けしています。

はちみつ 通信

まだ復興は進んでおらず、身内や知人の方がまだ不自由を強いられているなか、皆さん明るく元気に接していただき、消費応援に訪ねた私たちが元気をいただきました。

私たちの女性部では、おもてなし事業への参加登録も今後の課題の一つとして考え、別れ際に今度は郡上へ行きたいと仰っていただいた能美市の女性部の皆様を招待できればと思います。おもてなし事業を通じて、他県の方に郡上おどり以外の魅力を発信し、夏の踊りと冬のスキーシーズン以外の観光客増加につなげて、地域経済活性化の一翼を担えるようにしたいです。

今年に入り、大きな地震やそのほかの災害が各地でいくつもあり、記憶が薄れていきます。被災地近くの方が復興するまで忘れず、地域で商売をしている仲間として助け合える関係になれるとよいと思います。



能美市商工会女性部の皆さんと郡上市商工会女性部員。親睦を深めた交流会